

問合せ 議事課 (内線 351)

## 市民と議会との意見交換会を

### 開催しました

市議会では、市民の皆さんから直接ご意見やご提案をいただき、議会として積極的な政策提言を行うため「市民と議会との意見交換会」を、11月10日午後7時から市民文化会館で開催しました。

当日は、60人の市民の皆さんが参加され、全体会を開催した後、3つの分科会に分かれ、分科会ごとに設けたそれぞれのテーマのほか、フリートークでも活発な意見交換が行われました。

## 全体会の様子



野下達哉議会改革特別委員会委員長あいさつ

(議会改革特別委員会 委員長：野下達哉、副委員長：牧野圭佑  
委員：掛布まち子、中野裕二、東猴史紘、大藪豊数、田村徳周)

## 厚生文教委員会

分科会のテーマ

○図書館について

○高齢者福祉について

○フリートーク

▼新図書館について

**問** 新図書館の場所は、平成26年に始まった意見交換会の前に決まったのか、その後が決まったのか。

**答** 平成30年に決まっています。

**問** 意見交換会の際に、このテーマを取り上げていたのか。

**答** 意見交換会の際には、現状の図書館を今後どのようにしていくかをテーマとしました。

**問** サポーター室というのは、どのような内容のものか。ボランティア団体との相談窓口(支援室)を作る予定はないか。

**答** ボランティア(サポーター)や職員が一緒になって図書館を運営できるように、活動・作業ができるサポーター室と計画されています。

**問** ボランティアは民間から募集するのかわか。

**答** すでに多くのボランティア活動が行われていますが、令和5年に完成する予定の新図書館では、さらなる充実を期待します。

**問** 図書館の利用者に市の文化勲章受賞者(2人)を紹介したり、作品展示したりするコーナーを設けてもらえるか。

**答** 現在の図書館の延床面積は960㎡であり、新図書館は3000㎡を超え、所蔵冊数も12万冊から30万冊に増やす計画となっています。その中では郷土資料を約1万6500点集めるとし、それらを集めた郷土資料コーナーも計画されています。本があるだけでなく、中心となる作品や作者を紹介するなどのイベントを行うことで、利用者に分かりやすくし、手に取ってみたいくなるような展示を期待したいと考えています。

**問** 現在の図書館ではイベントを行える場所がない。新しい図書館にはイベントルームがあり期待しているが、できれば100人から200人が入れる多目的ホールがほしい。文化の拠点として発信できる場所を作ってほしい。

**答** これからの図書館は人と人を結ぶ場所ではないかと考えています。今の計画の中では、図書館とは別に設置する交流スペースに会議室を設けることになっており、その延床面積が130㎡です。いろいろなイベントに活用できるものではないかと考えています。

**問** 現在の図書館の跡地はどのようにするのか。

**答** 決まっています。

**問** 図書館の施設に入る商業施設について、本当に民間事業者が入るのか。市でリスクをどのように考えているのか。

**答** 図書館と子育て支援については、市のお金で作っていく予定です（国の建築基準に沿うため、コストが高額になる見込みです）。商業施設部分は民間のお金で作っていく予定です（民間の建築基準で建設することで建設コストを減らします）。それらを1つの建物で実現していくか、別々の建物で実現していくかは、民間事業者からの提案によって決まる見込みです。民間事業者からは、コスト削減とリスク回避の観点から別々に建設する提案がされる可能性が高いです。

▼高齢者福祉について

**問** 地域包括支援センターが市には3つしかなく、1センター当たり9000人を担当している。国（厚生労働省）の基準では中学校校区単位で1つとしており、また、1センター当たり6000人を担当することになっているため、4つ目、5つ目の設置が必要であると考えますが、増やしてもらえないか。

**答** 地域包括ケアの今後の取り組みとして、認知症ケアを行っていくチームが作られたところです。センターの追加については必要に応じて要望してまいります。

**問** 市は、地域ケアの3層の部分について、どのような展望を持っているか。

**答** 市は現在2層（地域包括支援センター）で実施している状態です。3層の展望については、今後確認してまいります。

**問** 市では「物忘れ外来」がなぜ実現できないのか。

**答** 江南厚生病院へ、「物忘れ外来」の設置を議員が個人レベルで依頼したことがありますが、院長から担当医師を確保することが難しいとの返答がありました（調べた結果、現在江南厚生病院と佐藤病院では忘れ物外来が設置されています）。

**要望** 元気な方がなぜ元気に生活できているか一度調査してみたらどうか。その結果を市として生かしてみてもどうか。予防対策（認知症、介護）ではなく、高齢者が役に立つような場を作り出せるよう検討してほしい。

**要望** 平均年齢世界一の日本は、平均年齢から健康寿命を引いた年数も世界一である。健康寿命を延ばすことを考えるのは厚生文教委員会の役割なので、検討してほしい。

**要望** 市民が趣味、希望を持って生活できるようにすることで、健康寿命を延ばすことが可能になると考える。この20年で変わったことといえば、市の施設が有料化されたことだ。これはやる気をつぶすだけの効果しかない。とても残念な状況だ。健康寿命を延ばすための対策を実施してほしい。

▼中学校の校則の見直しについて

**問** 校則の見直しを希望しているが、学校の担任、校長先生、教育委員会に申し入れても話を聞いてもらえない。誰に言えば見直しをしてもらえるのか。

**答** 過去の同様の一般質問において、教育長が、各学校の管理者（校長先生）が責任をもって定めると答弁しました。学校ごとにPTAで校則検討委員会を設けて、検討結果を校長に提言することがよいかと考えます。

▼市民文化会館の予約について

**問** 各種団体でのイベント実施において、市の後援を受けると、文化会館の予約を優先的にしてもらえるのは、どのような権限、基準や法律において行われているのか。

**答** 後援の有無で、優先的に予約できることは認識していません。間違った運用を行っているのかどうか確認します（調べた結果、後援を受けている場合は通常の1カ月前から予約できることが分かりましたが、存続するか廃止するかは今後検討します）。また、来年度4月からは12カ月前から予約ができるようになります。

▼布袋駅東の複合公共施設について

**問** 図書館以外の保健センター、子育て支援センターの内容などはどこで、どのように、検討されているのか。

**答** 市の施設担当課において、それぞれ移築に向けた検討を行っています。

▼各種協議会の情報公開について

**問** 障害者のための「総合支援協議会」があるが、その内容があまり伝わっていない。非公開の部分が多く、何をやっているのか、何を決めているのか分らない。これはいかがなものかと思う。

**答** 市が設置した審議会などであれば内容の公開可否や議事録の作成有無は事前に決めて実施しています（調べた結果、「総合支援協議会」については、会議の内容が個人情報に関わるものであり、また、公正かつ円滑な審議に支障があるため、非公開としています）。

## 建設産業委員会

- 分科会のテーマ
- 公共交通について
- すいとびあ江南について
- 都市計画道路について
- フリートーク

▼古知野地区と布袋地区の整備計画について

**問** 古知野地区と布袋地区の整備計画が極端に違う。都市計画税をたくさん払っている古知野地区に見返りがなく後回しで、第6次総合計画でも布袋地区のまちづくりばかりが進むようになっていく。昨年市長に指摘したが、布袋地区が先で古知野地区は後回しの方針とどうだった。

**答** 難しい問題です。大きな事業なので、長期的な視点で考える必要があります。布袋地区が終われば、次の段階で江南駅周辺のまちづくりに向かうよう市長に伝えます。



▼布袋駅周辺の整備について

**問** 布袋駅周辺で道路整備が進んでいるが、交差点部の整備ができていない。プラタナス通りから名草線に出るところに信号がない。布袋本町通線から国道155号に出る部分にも信号がないなど、どうなるのか。議員も現地に足を運んで取り組んでほしい。

**答** 信号や道路の整備については検討し市や県に伝えます。市民と行政のパイプ役が議会の役割なので、今日の意見をしっかりと市政に反映させるように努めます。

▼公共交通について

**問** 江南市の公共交通は、路線バスといこまいCARで充足しており、今後10年間は現状維持という市の方針だが、市周辺の住民は、いこまいCARでは高すぎて買い物も通院も困っている。1000円や2000円で乗れる巡回バスを、真剣に考えてほしい。布袋地区にできる図書館まで、子どもは行くことができる。フラワーパーク江南やすいとびあ江南へも、高齢者は行くことができない。巡回バスを強く要望する。

**答** 公共交通の問題は大きなテーマなのでこれからも議論をしていきます。地域から巡回バスなどの導入について要望があれば、市は支援をしていく方針があります。

**問** いこまいCARは便利だが高く、前日予約なので急な用事には使えない。また、タクシー料金助成券といこまいCARのどちらか一方しか使えず、「路線バスといこまいCARで公共交通が充足」というのは疑問である。巡回バス問題での議会の取り組みが弱いのではないかと。

**答** 市民から巡回バスを走らせて欲しいとの声はたくさん聞いているので、真剣に取り組んでいきます。

**問** 名鉄バス古知野B線の4月のダイヤ改正で、名鉄電車からバス最終便への乗り継ぎが悪くなり、タクシーで帰宅せざるを得ず、困っている。また、布袋地区から一宮市方面へのバス路線がない。

**答** 市を通して名鉄バスにそうした声を伝えます。

▼すいとびあ江南について

**問** すいとびあ江南の廃止報道に驚いた。すいとびあ江南にある植樹広場は市民の寄付で作られたものだ。財政問題を出されると市民には分からないが、市の一大拠点である、すいとびあ江南を存続させてほしい。

**答** 断定的な新聞報道で市民の誤解、不安が高まったのは残念なことです。市の公共施設再配置計画の中で民間譲渡・廃止の方向は出ているが、決まったわけではなく、今後検討していくことになっています。ただし、今後の在り方についての検討組織はまだ作られていない状況です。

**問** 存続を考える前に、低い稼働率を高めて収入を増やす真剣な努力が必要ではないか。

**答** すいとびあ江南の稼働率を上げる手はあると思うので、市に対して意見を述べていきたいと思えます。

**問** 今のすいとびあ江南には魅力がなく、行く気がしない。キャンプ場にして魅力をつくり活性化させてはどうか。京都府城陽市では、アウトドア企業と城陽市が共同で、都市公園内の宿泊施設をリメイクし、見事に復活させている。JR東日本の古い住宅を、老人ホームや保育園、マルシェなど多世代交流の場にして復活させている事例もある。市民みんなの力ですいとびあ江南を活性化させ

ていきたい。

**答** 貴重な意見をいただきました。行政が民間の力を借りて、様変わりをしている地域もあります。さまざまな知恵をいただいて、すいとびあ江南の稼働率を上げていく方法を検討していきたいと思えます。

▼KTXアリーナについて

**問** 新体育館は立派だが収支はどうか。維持管理費用も心配になる。市の負担はどれくらいか。

**答** 正確な数字は、今は分からないので調べて回答します（調べた結果、KTXアリーナの、平成30年度決算収支は、収入が、約3900万円、支出は、他の施設との按分計算になりますが、維持運営コストとして約2000万円、収入と支出の差、約3300万円が市費負担となっています）。

## 総務委員会

分科会のテーマ

- マイナンバーカードの普及について
- プールの民間活用について
- 公共施設の再配置について
- フリートーク

**問** ▼マイナンバーカード登録について  
登録をしたら、預金や財産などを見られてしまう心配はないのか。

**答** 預金、財産などをカードだけで第三者が見ることはできません。市のマイナンバーカードの普及率は、11月5日現在、11・04%です。今後、普及率を向上させるために、国家公務員や地方公務員に対して普及を促します。市も窓口の人員を増やす予定です。医療機関は、健康保険証として利用が始まると、事務の簡素化がメリットとなります。



▼プールについて

**問** 小学校プールの利用日数と民間利用日数について、学校によつて日数が違ってくるのではないか。

**答** 小学校は、全ての学校が年に1クラス10時間程度となっています。

**問** 気温が高すぎたり低すぎたりすると、プールの稼働率が下がってしまう。民間を使う方がコストは高くなるのではないか。

**答** 移動時間や手段の問題もある。付き添いの先生もいるだろうから先生の賃金も加味するの。

**問** 1回の授業に2コマ使うことで、着替えの時間を加味しても移動時間は確保できると思います。インスタラックターも先生とともに生徒を指導してくれ

ることになります（調べた結果、コストについては、プールの更新も含めてコスト比較しています）。

▼区の管理している学供について

**問** 区が管理している施設も再配置計画に入っていると市から聞いている。毎年、100万円ほど支出している。2年間でトイレ修繕などに多額の投資や土地の寄贈もしているので、計画から除外できないか。

**答** 修繕なしに修繕して渡すかどうかであるが、基本的には無償譲渡になると聞いています。

▼老人福祉センターについて

**問** 老人福祉センターが市民の自主避難所として正しいのか。耐震問題、内水氾濫のある所でもあり疑問だ。KTXアリーナが自主避難所として位置づけが変更となる予定はあるのか。

**答** 市内にある自主避難所が福祉センター1カ所だと、市の北や南の方に住んでいる市民が利用できないので、市内に3カ所あったほうが良いと提案し、検討してもよいと考えます。またKTXアリーナについても自主避難所にするように提言します。

▼ハザードマップについて

**問** 江南市のハザードマップを見たところ、前に五条川が越水した南部地域の箇所が載っていないのが最新のものではないのか。

**答** 避難所の情報も含めて、来年度か再来年度には作成できると考えています（来年度、発行するために準備しています）。

▼避難所の備蓄について

**問** 現状、市の指定している避難所の備蓄品は何日分あるのか。

**答** 収容可能人員の3日間分の食糧と水の備蓄があります。



## アンケートを実施しました

今後の運営の参考とさせていただきます。ご来場の方々にアンケートをお願いしたところ、50人の方にご協力をいただきました。

「意見交換会を何で知りましたか」の問いには「広報こうなん」と「議員・知人の紹介」が多く、次いで「地区回覧」という結果でした。

「開催日時」については、おおむね参加しやすかったとの回答でしたが、日曜日の日中の開催を希望する意見もありま

した。「議会のようすをご覧になりますか」の問いには、「毎回見る」または「ときどき見る」方がほとんどという結果となりました。

なお、今回の意見交換会の内容は、市議会ホームページでも掲載していますのでご覧ください。

アンケート結果の詳細は、市議会ホームページなどでお知らせします。

今後多くのご参加をお待ちしています。

## 市民アンケートのお礼

市議会では、昨年10月6日から11月17日にかけて、市主催のイベントなどにおいて市民アンケートを実施しました。大変多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。議員一同、このアンケート結果をもとに、皆さんがより良い市民生活を送るための活動に生かしていきます。

## 令和2年議会日程（予定）

3月定例会	開会日	2月25日(火)
6月定例会	開会日	6月11日(木)
9月定例会	開会日	9月2日(水)
12月定例会	開会日	11月26日(木)

※日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。